

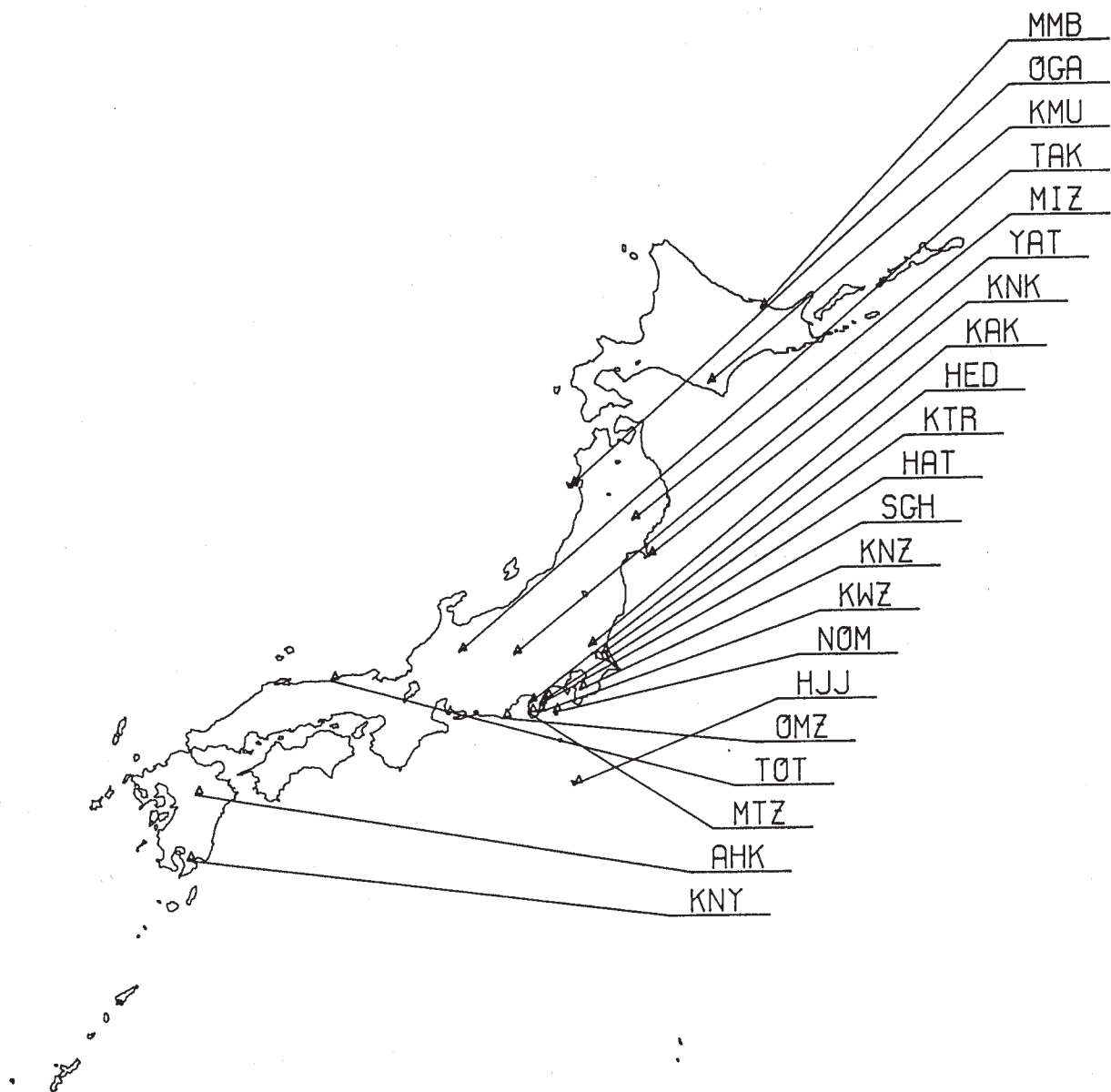
7 - 3 地震予知研究計画に基づく地磁気永年変化精密観測 1977 年 1 月～1984 年 6 月

Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of Earthquake Prediction Research, January, 1977 - June, 1984

地震予知研究計画・地磁気研究グループ
Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

この報告は 1977 年 1 月から 1984 年 6 月までの期間における柿岡（KAK）を基準とした地磁気永年変化観測点のプロトン磁力計による全磁力夜間値差を解析したものである。現在の全測点数は 21 であり、第 1 図にそれぞれの位置を示す。さらに、各地点の全磁力差、柿岡の全磁力値、柿岡の該当時間帯の K 指数それぞれの月平均値を第 2 図に示す。スケールは 20nT/1 目盛である。なお、使用データは、1980 年 3 月以前は 00 時 40 分～01 時 20 分の 5 個、1980 年 4 月以降は 00 時 40 分～03 時 00 分までの 15 個の 10 分毎の一分値である。ただし、金華山（KNK）については全期間を通じて 5 個である。又、同時に上記の値の 1984 年 4 月から 6 月までの日平均値を第 3 図に示す。スケールは図右端に示すように 10nT/1 目盛、K 指数は 5/ 1 目盛である。

前回報告以後 1984 年 4 月から 6 月にかけての特筆すべき現象としては 6 月から 7 月にかけての御前崎沖の小規模な群発地震が挙げられる。御前崎（OMZ）の柿岡に対する差はこの期間で増加しているが、これは季節的な変化と考えられる。御前崎以外の駿河湾沿岸及び伊豆半島付近の測点にも全磁力の変動がみられる所もあるが〔松崎（MTZ）、野増（NOM）〕やはり季節的変動と考えられる。一方、それ以外の地域の測点にも異常は認められない。

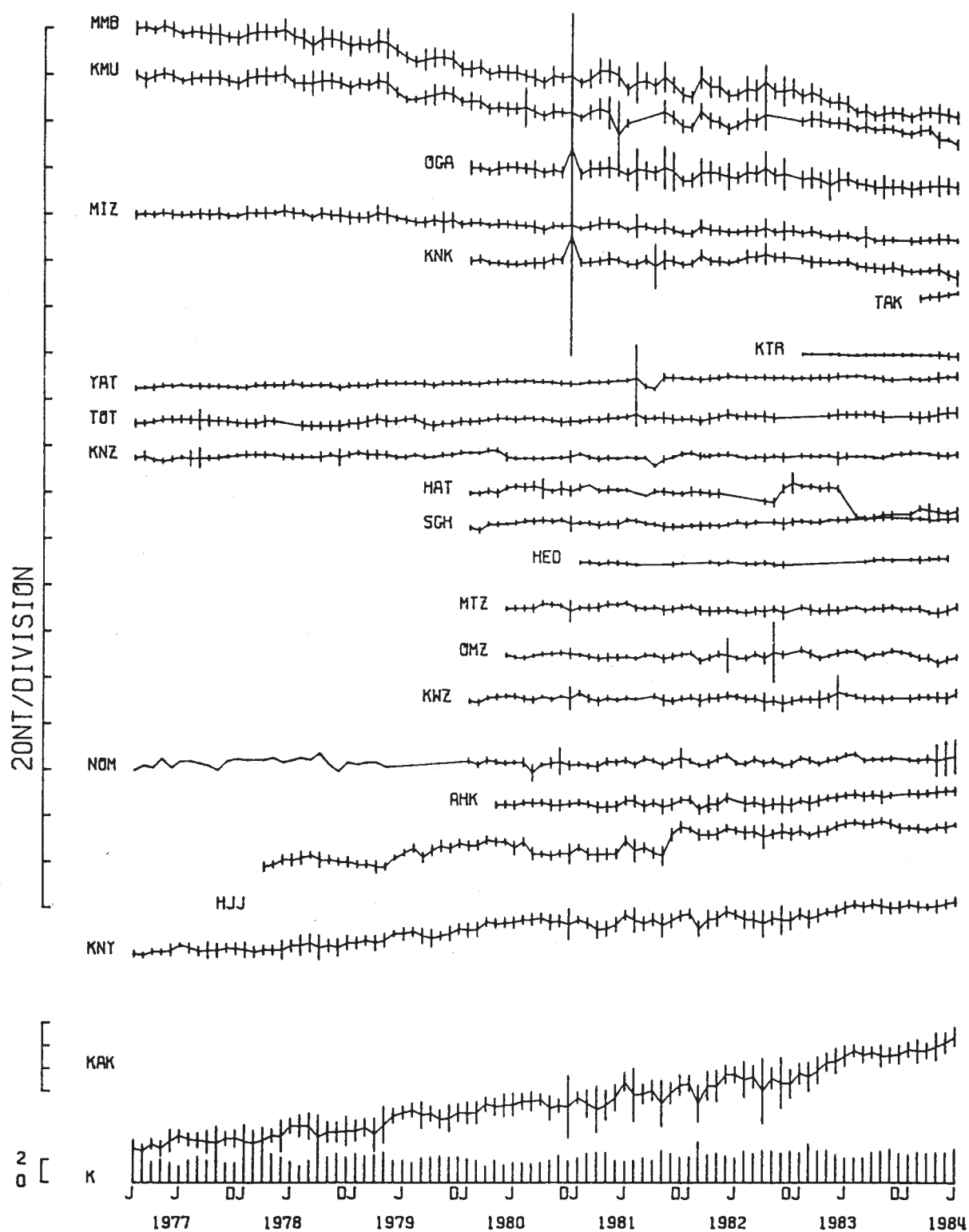


第1図 観測点の位置

Fig. 1 Distribution of observation stations.

MONTHLY MEANS OF DIFFERENCE IN TOTAL FORCE

1977 - 1984

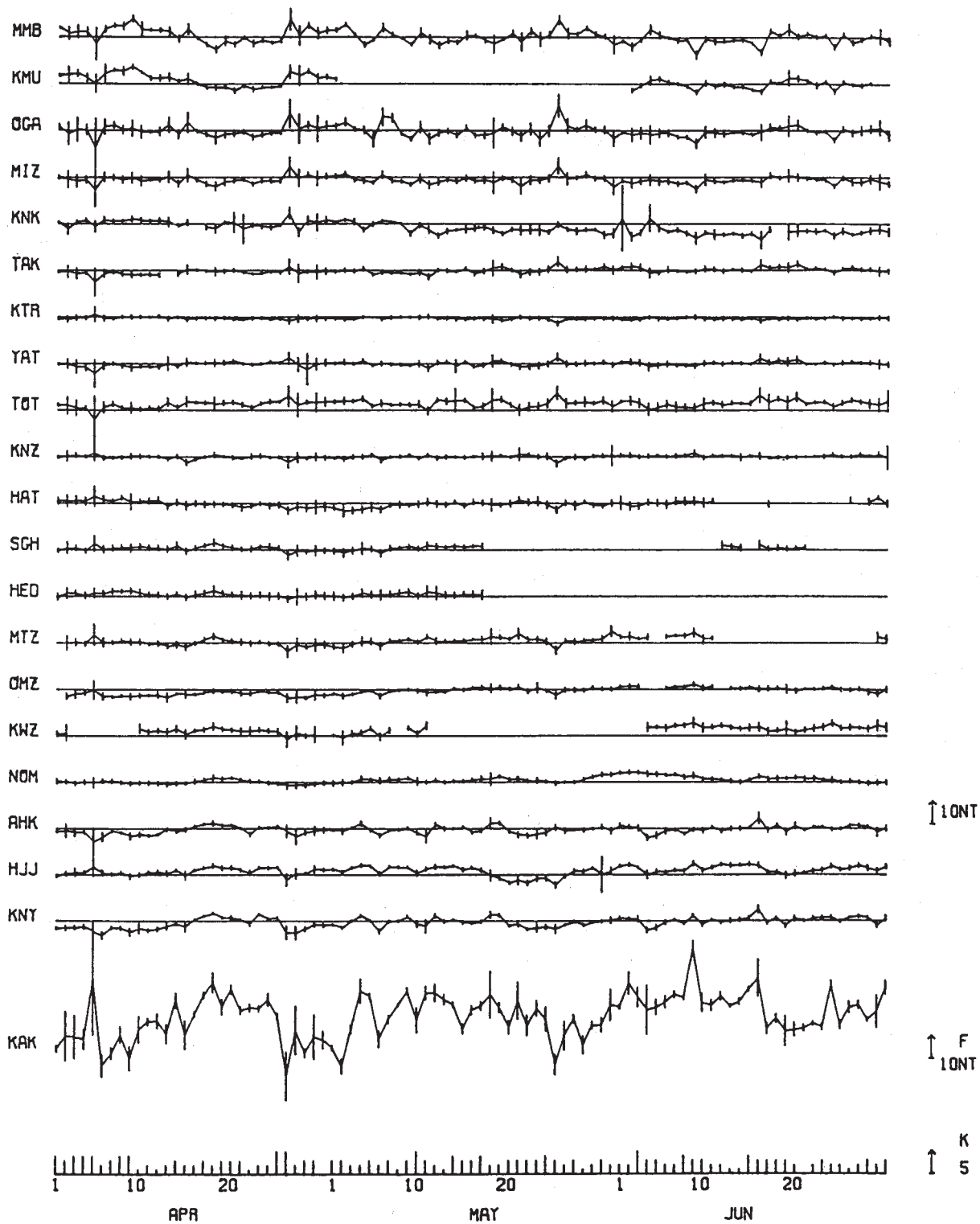


第2図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化（月平均値）
1977年1月～1984年6月

Fig. 2 Month-to-month change of the difference of nighttime total force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from January, 1977 to June, 1984.

DAILY MEANS OF DIFFERENCE IN TOTAL FORCE

APR - JUN, 1984.



第3図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化（日平均値）
1984年4月～1984年6月

Fig. 3 Day-to-day change of the difference of nighttime total force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from April, 1984 to June, 1984.